

無所属 西東京市議会議員

# 森てるおの なんでもりポート 第40号



2007年10月発行（隔月発行） 定期購読料：年間1,000円（送料含む）  
編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目 西東京市中町2-8-13-102  
電話：042-439-7023 FAX：042-439-7024

## 園児置き去り事件

市内保育園で4月26日と10月3日の2回、それぞれ別の保育園で、お散歩に行った先の公園に園児（一才児）を置き去りにして園に戻ってきてしまうという「事件」が起きました。子どもの引率では人数の確認は何度やってもやりすぎということはありません。道の角を曲がったとき、車が横を通り過ぎたときなど、折に触れて無意識の内に人数を確認してこそ、プロの保育士です。

4月26日は夕方、いこいの森公園に置き去り。公園の管理人が保護するまでの15分間ほどは完全に大人の目を離れていたそうです。足取りがおぼつかなくても、15分もあれば十分にビオトープの水路までたどり着いてしまいます。保育園では親が迎えに来るまで気が付かなかったそうです。この大変な事件は市長に報告されていませんでした。

10月3日はお昼前に、線路を越えて行った公園で。乳母車に乗せて30分くらいの所でしょうか。置き去りにされた1才児は近所の住人が発見して、公園に近い別の保育園に届けてくれました。その園から連絡があるまで、置き去りにしたことに気が付かなかったそうです。2件とも市長への報告は10月16日です。なぜ報告されなかったのか、市長の調査報告を待って、改めて質問します。

それにしても、最初の事件のときに報告されていれば、2度目の事件はなかったと推測できます。置き去りにしたことも、報告されなかったこともふつうでは考えられないことです。決算委員会が15日から行なわれていたのに、質問を受けるまで、市長も置き去り事件を報告しませんでした。市長の説明には当事者としての緊張感が全く感じられませんでした。外出の際に員数を数えること、事件を報告することなどは組織の基本的な事柄です。基本まで職員の勝手な判断で行なわれていることになりますから、組織のたがが緩んでいる、市長は何をしているのかと、私などは考えてしまいます。

市長の役割というものは「方針を示し、施策を決定し、責任を取る」の3つしかありません。これらがきちんと果たされていれば、市長がいなくても行政という組織は回っていきます。この点、坂口市長はどんなものでしょうか。方針を示していますか？ 決定をしていますか？ 責任を取っていますか？ 私の目から見たらいずれも「???'です。組織がうまく回らないのは、トップが組織を十分に掌握していないということにほかなりません。基本をはずした行政行為が行なわれているのだから、うまく回っているとはとても思えません。

## 多摩六都科学館休館中！

多摩六都科学館の構造計算を行なった設計事務所が、横浜で構造計算書を偽装していたことがわかり、多摩六都科学館の構造計算が適正だったかどうかを含めて調査中です。NHK出身の高柳館長が就任してから、企画も面白く、来館者も増えていただけに残念です。この機会を使って館長自身の小学校での「サイエンス・カフェ」など出前の活動を強めると伝えられており、期待しています。

お詫び：本号は拡声器35号の発行に合わせて発送するつもりで、拡声器の発行を優先させました。そうしたところ、拡声器の発行が遅くなってしまったために、それに相乗して発行月が遅れてしまいました。不手際の点お詫びします。ご容赦ください。

## 拡声器のポスティング、駅頭配布にご協力ください！

毎回の議会が終わるたびに議会報告として「拡声器」を発行し、市民の皆さんに駅頭で、また各戸へのポスティングでお届けしています。

朝の駅頭での配布を手伝ってくださる方、また、各戸へのポスティングをしていただける方を求めています。駅頭での配布では延べ人数で23人が必要です。ポスティングでは現在、3万枚近くを配っていただいています。

(駅頭では3500枚)7万枚印刷した残りの35000枚余りを森てるお本人が、土・日・祝日を使った連れ合いと分担して配っています。時には配りきれない事態にもなります。どうか、配布にご協力ください。



## 映画、シニア料金

ちょっとしたきっかけがあって、この間何本かの映画を見ました。

始まりは「陸に上がった軍隊」でした。新藤兼人監督の体験した敗戦間際の軍隊の様子を、監督自身の証言を織り交ぜながら描いた作品です。

次に「ミリキタニの猫」を見にいきました。ニューヨークでホームレスをしながら絵を描き売って暮らしている日系人のツトム・ミリキタニ氏を描いた作品です。シアトル生まれの日系アメリカ人ミリキタニは第二次世界大戦での日本人敵視政策によって日系人収容所に収容されて、アメリカ市民権の放棄を強要されてしまいます。その後アメリカ社会の差別性などを町なかで訴えたりします。

9・11 同時テロ当時、ニューヨークにいたミリキタニはその後のアラブ人差別にも自分の差別を投影し、抗議の声を上げます。社会保障を受けるように監督に働きかけられ手続きに行くが、社会保障番号を持っていないとして断られます。

しかし、調査の結果、本人への連絡が届かないまま市民権は復活待ちで宙に浮いていたことがわかり、社会保障を受けられることになりました。アメリカの懐の深さを示したところでしょう。映画の最初、肩が落ち、くたびれた様子のミリキタニが、映画が終わるころには背筋が伸びてかくしゃくとした様子になっていたことに私は目を見開きました。劣悪な環境が人の体をいかに蝕むものかと感じました。

どちらも面白い映画でした。

そのあとは、「ボイス・オブ・ヘドウィグ」。ニューヨークにある性的少数者の高校を支援するためにオフブロードウェイの名物ミュージカル「HEDWIG」のカバーCDをつくる過程と、そこに通う4人の生徒の物語を織り交ぜながら描いたドキュメンタリーです。この高校はその後、賛否両論渦巻く中、公立高校になったそうです。オノ・ヨーコも音楽のカバーに参加しています。

次の映画が「スクリーミング・マスターピース」人口30万人のアイスランドがなぜ世界に音楽を発信できるのかを追いかけた、大音量での音楽場面が映画の「売り」でした。よかったですよ。

先日、私も晴れて？シニア料金で鑑賞できることになりました。せっかくだから時間が許せば見に行こうと考えています。

## ○森てるおの活動記録 (2007年7月～8月)

※ 主なものを掲載しています。

- 7月 1日 龍平ニュースポスティング
- 2日 FM西東京「大人の放課後」収録
- 6日 保谷駅南口住民訴訟
- 7日 スタッフ会議
- 8日 井戸端会議
- 12日 参議院選挙告示・ポスター掲示
- 13日 選挙応援(街宣・～27日)
- 15日 パネル討論看板作成
- 16日 道路パネル討論
- 18日 駅周辺再開発等特別委員会
- 23日 道路訴訟
- 24日 議会報編集委員会
- 29日 パネル展示打ち合わせ・開票立会い
- 30日 タバコ報告書印刷・拡声器編集

- 8月 4日 スタッフ会議
- 6日 駅頭(～20日) 拡声器引取り
- 8日 議員ネット合宿(～9日)
- 11日 夏の映画会(～12日)
- 16日 行政説明
- 17日 柳泉園監査請求意見陳述
- 19日 「どうする調布保谷線」パネル展示
- 20日 展示当番(～24日)
- 22日 保谷駅南口住民訴訟
- 23日 議会運営委員会・全員協議会
- 24日 土地開発公社
- 25日 市民のひろば(～26日・3回)
- 27日 都市計画審議会
- 28日 議会運営委員会